

# つなぐな がれ 広がれ

## NPOの輪

〈市民公益活動団体リレートーク18〉

### 復興支援奥州ネット

「東日本大震災で被害を受けた沿岸被災地の再起、復興、自立に向けた支援を行っていききたい」と語るのは、復興支援奥州ネットの大江昌嗣代表。

同ネットは、沿岸被災地の復興へ向けて市内の団体が効率良く支援を行うため、本市の支援活動の窓口として活動しています。これまでに、アフリカのエチオピア産バラを沿岸被災地に届ける「エチオピアアンローズプロジェクト」の活動に対する協力や、沿岸被災地への学生ボランティア団体の宿泊手配、現地訪問などの活動を実施してきました。

設立は平成24年2月18日。それまで、盛岡市や一関市などには沿岸被災地支援の拠点があるものの、市内にはありませんでした。設立以前か

ら市内では個人、団体が個別に支援活動を展開していましたが、より効果的な支援を行うため、「市内にもその拠点が必要」という声が沸き上がり設立へとつながりました。

同ネットには、NPO法人イーハトーブ宇宙実践センター、市社会福祉協議会、奥州いわてNPOネット、水沢東ロータリークラブ、市などが参加。それぞれの活動を集約し、協働のもとに、お互いの手が届かないところを補い合いながら、効果的な活動を行っています。

沿岸の自治体や団体との連携にも力を入れていく同ネット。「被災地の要望に沿った支援を行うことが大切。現地にも同ネットのよりどころとなる場所ができてつあります。現地の要望に的確に応えられるよう活

「エチオピアアンローズプロジェクト」は、バラを受け取った被災者を笑顔に変えた。



動していききたいですね」と大江代表は話します。  
また、4月からは前沢区生母振興会野菜部（同ネット構成団体）が農地を被災者に提供し、ジャガイモやダイコン、キャベツなどの栽培を始めました。「協働による野菜栽培のモデル事業となり、いずれは首都圏での販売もできるようにね」と大江代表は期待を膨らませます。  
同ネットは、本市の沿岸被災地支援の拠点として、被災地の復興をさらに後押しするため、市民の皆さんの協力のもと、支援活動に取り組んでいきます。



どのような支援を行うか議論を重ねる会員の皆さん

### interview



復興支援奥州ネット 代表

大江 昌嗣さん (71)

当ネットでは、物資を送るだけではなく、被災者の皆さんの自立を促す支援活動を実施していく予定です。被災者の皆さんは、自立に向けて何かをする「力」があるはず。それを引き出してあげたいですね。

当ネットでは、会員を募集中です。気軽に参加してもらい、できることから取り組んで欲しいと思っています。



復興支援奥州ネット 副代表

千田 敏彦さん (65)

3月下旬に、陸前高田市広田町の仮設住宅を訪れ、被災者の皆さんが「何かをしたいが、力がなくなっている」という状態にあることを強く感じました。被災地では農機具が流されたうえ、塩害で作物が栽培できません。当市で沿岸被災者の皆さんと一緒に野菜を作り、自給自足できるように協力していききたいですね。

## NPO 伝言板

市内のNPO活動をお知らせします。情報の掲載を希望する場合は、市民活動支援センター（☎ FAX ④ 4200）までお問い合わせください。

### ●奥州宇宙遊学館イベント

【連休ワークショップ「日食メガネを作ろう!」】

期間：4月28日(日)～5月6日(日)※随時受け付け

内容：5月21日(日)の金環日食へ向けて太陽を安全に見るためのメガネ作り

参加料：150円（材料代）

持ち物：色鉛筆または色サインペン

### 【子供の日フェスタ】

日時：5月5日(日)①午後1時②午後2時

内容：①ポラーノ弦楽合奏団演奏会②サイエンスショー

参加料：無料

### ※共通事項

場所：奥州宇宙遊学館

問い合わせ：奥州宇宙遊学館（☎ FAX ④ 2020）

### ●地域福祉を支援する「わかば基金」

内容：地域に根ざした福祉活動を行うボランティア団体やNPO法人を支援する基金です。この基金では、リサイクルパソコンの提供や支援金により活動を支援します。詳細は同基金ホームページをご覧ください。お問い合わせ先：NHK厚生文化事業団「わかば基金」事務局（☎ 03-3476-5955、[URL] <http://www.npwo.or.jp/wakaba/>）

お問い合わせ・申込先：NHK厚生文化事業団「わかば基金」事務局（☎ 03-3476-5955、[URL] <http://www.npwo.or.jp/wakaba/>）

NPOとは…市民公益活動団体のこと。NPO法人やボランティア団体など「公益的な活動を、自発的に継続して行う民間非営利組織」の総称です